

GET INTO THE *Matsudog* MUSIC

SPECIAL INTERVIEW

耳を澄ませば心地よい
おんがくが聞こえるまち、松戸

松戸市はどうして「音楽のまち」となったのか、音楽を通してこのまちに育まれてきたものは何なのか。音楽を愛し続ける3人が語り合う、音楽の魅力と、この先に向かっての想いとは。

八嶋▼松戸が「音楽のまち」って言われるようになつたのは、やはり部活動が盛んなことばきつかでしようか。

須藤たしかに、部活動が盛んで結果も出しているので、そこから音楽のまちと言われ始めたのかなとは思います。ですが、学校以外でも、松戸市音楽協会の加盟団体もかなりありますし、多彩な音楽活動が盛んに行われていますよね。それにホールなどの設備も充実していて、商業施設や自治体も演奏の場を与えてくださっています。そういうところも、松戸が音楽のまちと言われる理由だと思います。

アサノ僕は小学5年の時にクラシックギターを習い始めました。でもバンド活動で知り合った他のギタリストに聞くと、クラシックから入った人っていらないんですよ。クラシックギターが習える環境ってあまり無かったのかもしませんね。あとは、ピアノの先生も

ひとつのマンションにひとりはいた気がします（笑）。今思えば、昔から音楽が身近にあって始めやすい環境が整っていたんだと思います。

由な気風があるから、音楽を始める時のハードルが低いのかもしれません。
須藤 松戸が他の地域と違うなど感じるのには、みんなでうまくなるう、みんなでもつと楽しく音楽をやろうっていう雰囲気があることだと思います。学校が連携して一緒に練習することもありますし、小中高のジョイントコンサートも実現しました。松戸は、どうし音楽活動が盛んで吹奏楽も強いんですか？
つてよく聞かれますが、いつも私は「仲が良

いからだと思います」と答えていました。

団体も序列がつくという感じではなく、合同演奏会もあります。楽団員には松戸市外から来ている方もいるんですが、松戸に来れば音楽に接することができると思っていて方が増え

たからでしょうか、新しい文化に非常に寛容
っていう特長もありますよね。

音楽フェスティバル「MATSUCON!」で、吹奏楽や合唱がある中に、僕らのようなロックバンドが混ぜてもらえるのがすごいなって思います。あと、僕らのバンドは「自由

ので、みんな思いのスタイルで楽しんで
くればいいと思っているんですが、松戸は
すでにそれが成立しているんですよ。ご年配
の方も手を叩いてくださっている姿がステー

僕らのバンドには目標が2つあって、まずひとつが武道館でライブをやること。そしてもうひとつは松戸でフェスを主催することなんです。僕らは今まで各地のフェスに参加し

するのに抜群の環境だと思っています。
八嶋 松戸の真ん中にある森のホール21は、
立地も施設のレベルも中心的な存在ですよ
ね。それとは別に、1週間ごとに場所を変
えて音楽イベントを開催するとか、日々の暮
らしの中に音楽が出てくる機会があつてもい
いと思うんです。「松戸音楽アワード」なん

八嶋正典

ケンジ

アサノ

須藤卓眞

音楽科の教員として児童、生徒の教育に携わり、長年吹奏楽部の名顧問として松戸市の学校を全国大会まで導いてきた。現在は松戸市文化振興財団での文化振興業務、学校での指導等に尽力。

